



プレス発表会のお知らせ

3 万年前の航海 徹底再現プロジェクト  
新規プロジェクトの立ち上げにあたり、プレス発表会を行います。



—最初の日本人は航海者だった—（海部陽介の新著より）

日本の考古・人類学が蓄積してきた膨大な遺跡データ。それにアジア大陸からの新証拠を合わせていくと、これまで気づかなかった祖先たちの興味深い姿が見えてきました。国立科学博物館はそれを現地で実験して検証する、新しいプロジェクトを計画しています。

◆ 「3万年前の航海 徹底再現プロジェクト」立上げのためのプレス発表会

【日時】平成 28 年 2 月 9 日（火）13:00~14:00

【会場】国立科学博物館 上野本館 日本館 2 階 講堂

- ・ プロジェクト代表の海部陽介（人類史研究グループ長）がプロジェクトの重要な点について動画とスライドを使ってご説明します。報道用に動画・画像類をご提供できます。
- ・ 事前にお申し込みいただいた記者の方には、プロジェクトの背景を詳説した新刊本を進呈いたします。
- ・ 発表会当日は、プロジェクト実施のために必要となる費用 2 千万円の資金調達を目標に実施するクラウドファンディングについて、運営会社 READYFOR?より説明いたします。

# プロジェクト概要

—科博の新たなチャレンジです—

**背景（※詳しくはこのリリースに添付の別紙「科博航海プロジェクト説明資料」をご覧ください）**

- ・ 日本列島へ祖先たち（ホモ・サピエンス）が最初に渡ってきたのは3万8千年前頃であり、それは当時も存在した対馬海峡を渡るものであったことが、ほぼ確実です。一方で、おそらくその少し後に台湾から琉球列島へ航海した集団、さらに当時大陸と陸続きだったサハリンから北海道へと南下した集団がいた証拠があります。
- ・ この中で琉球列島への航海は、これまで学界でほとんど注目されてきませんでした。しかし当時の地形を復元してみると、その意外な困難さが明らかになってきました (Kaifu et al., 2015: Pleistocene Seafaring and Colonization of the Ryukyu Islands, Southwestern Japan. In: Kaifu Y, Izuhono M, Goebel T, Sato H, Ono A, editors. Emergence and Diversity of Modern Human Behavior in Paleolithic Asia. pp. 345-361. College Station: Texas A&M University Press.)。
- ・ 人類最初の渡海の確実な証拠としては、4万7千年前かそれ以前に達成されたオーストラリア大陸への到達が国際的に有名です。一方、これまで十分認識されていませんでしたが、日本列島の証拠はこれに次ぐ古さのものです。さらに3万年前頃の琉球列島への航海には、オーストラリアへの渡海にはなかった別次元の困難さがありました。それは目的地の島が小さく遠いこと（一部の島間は目的地が視認できない）、さらに世界最大の海流である黒潮を越えるものであった可能性があるという点です。
- ・ つまり陸で進化した人類がどのように海へ進出しはじめたのかを知るための重要な証拠が、この日本列島にあったのです。

**目的（いくつもの面で前例のない新しいタイプのプロジェクトです）**

- ・ **【総合的な検証】** このプロジェクトは遺跡調査だけでなく、過去の黒潮動態研究、島で人口を維持できるような移住者数と移住パターンのシミュレーションなど、総勢20名以上の研究者による多角的な研究によって進められます。その上で古代舟を学術的証拠に基づいて復元し、実際に航海を行って祖先たちが直面し乗り越えた困難さを検証することが目的です。
- ・ **【研究+冒険】** ただし、人類学・考古学の専門家は航海した事実を研究によって突きとめることができても、本当の海や航海というものを十分に理解しているわけではありません。そこでそれを熟知している海洋探検のエキスパートたちとチームを組み、共同作業で実験航海を行うことにしました。
- ・ **【地域貢献】** 実験の主な舞台は与那国島です。日本列島の西の果てと呼ばれますが、当時は列島への入口でした。そこに知られざる歴史的価値があったことを掘り起こして行きたいと思います。
- ・ **【開かれたプロジェクト】** 3万年前頃の台湾からの航海には様々な謎があります。祖先たちが使った舟がどのようなものであったかについても、（見通しはありますが）結論は出ていません。私たちはこれから1年以上をかけて現地調査と研究会を重ねながら試行錯誤し、そうしてこの謎に迫っていきます。その過程を全て一般の皆様公開し、大きな謎を解いていく体験を多くの一般の方々と共有したいと考えています。

## 国立の博物館が実施する初めてのクラウドファンディング

### プロジェクト実行にかかる資金調達のため2千万円の支援募集に挑戦！

- ・ このような性質のプロジェクトを遂行するには、通常の研究費とは異なる外部資金が必要となります。2年間の計画にかかる総費用はおおよそ5千万円。今回はその第一段階として、2016年夏に実施予定の実験航海（与那国島 → 西表島）にかかる2千万円を目標に、本年2月9日～4月12日までクラウドファンディングを実施します。本プロジェクトは、国内の国立博物館が実施する初めてのクラウドファンディングとなり、国立機関による購入型クラウドファンディング最高目標金額の資金調達に挑戦します。
- ・ 支援者の方々にはプロジェクトの最新情報をお届けするほか、別紙に記載した数々の特典をご用意しております。多くの方々にご支援いただき、そして私たちのルーツにつながる新たな事実の核心に迫るこの「謎解き」に参加していただきたいと考えております。

【 URL 】 <https://readyfor.jp/projects/koukai>（または「3万年前の航海 再現」で検索）

※このサイトにはプロジェクト概要が記されており動画も見られます。

【 期間 】 2016年4月12日（火）まで

【目標金額】 2千万円 ※期間内に目標金額に到達しなかった場合、支援者に全額返金されます。

### 一般向けプロジェクト説明会のお知らせ

プロジェクトにご関心のある一般の方々を対象に、下記のとおり説明会を開催いたします。

#### ○「3万年前の航海をどう検証するか」

海部陽介（プロジェクトチーム代表、国立科学博物館 人類史研究グループ長）

- ・ **東京説明会** 2月14日（日） 13:30-15:00（受付開始 13:00）

国立科学博物館 日本館 2階 講堂（東京都台東区上野公園内）

※事前申込不要。定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。参加費はありませんが、常設展示入館料が必要です（一般・大学生 620円、高校生以下・65歳以上無料）。

- ・ **那覇説明会** 2月21日（日） 13:30-15:00（受付開始 13:00）

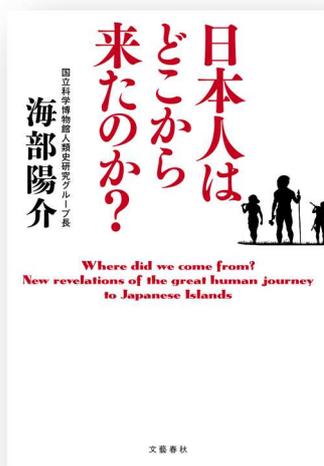
沖縄県立博物館・美術館 1階 博物館講座室（沖縄県那覇市おもろまち）

※事前申込不要。定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

詳しくは下記ウェブサイトをご覧ください。

<https://readyfor.jp/projects/koukai>（または「3万年前の航海 再現」で検索）

### プロジェクトについて記した新刊本のお知らせ



海部陽介（著）

「日本人はどこから来たのか？」

文藝春秋

2016年2月10日刊行

## プロジェクト内容についての問合せ先：

海部陽介

プロジェクトチーム代表、国立科学博物館人類史研究グループ長

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL： 029-853-8901（代表）、029-853-8184（直通）

E-mail： kaifu@kahaku.go.jp

対応者については下記をご参照ください。

<http://www.kahaku.go.jp/research/researcher/researcher.php?d=kaifu>（科博 HP）

[http://www.nikkei-science.com/201305\\_008.html](http://www.nikkei-science.com/201305_008.html)（日経サイエンス誌）

<http://nationalgeographic.jp/nng/article/20130529/352348/>（ナショナルジオグラフィック日本版）

## プレス発表会についての問合せ・および資料請求先：

吉田聡宏

国立科学博物館研究活動広報担当

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL： 029-853-8901（代表）、029-853-8903（直通）

E-mail： outreach@kahaku.go.jp

### ◆ 特に報道して頂きたいこと

- ・ プロジェクトの一般向け情報を掲載したクラウドファンディングのサイト  
<https://readyfor.jp/projects/koukai>  
または「3万年前の航海 再現」で検索
- ・ 一般説明会の情報
- ・ 新しいタイプのプロジェクトであること、博物館活動の潜在力
- ・ 国立の博物館が実施する初のクラウドファンディングであること

### ◆ 資料の提供

本件の報道のため、記者発表会にご来場の方に以下の資料をご提供いたします。

- ・ 公開する動画の高解像度版
- ・ 説明用パワーポイント資料
- ・ 次ページ（「画像提供」）の画像
- ・ 海部陽介の新著「日本人はどこから来たか？」

※事前に発表会参加のお申し込みをされた記者の方に限らせて頂きます。

## 画像提供

報道用に下の写真・図をご提供いたします。研究活動広報担当（吉田）までご連絡ください。

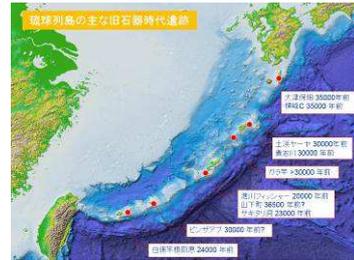
- ・使用目的は今回の報道に限らせて頂きます。
- ・クレジット表記：「提供：3万年前の航海徹底再現プロジェクトチーム」と記してください。
- ・写真は全て与那国島で撮影したものです。
- ・草舟の製作・テストは2015年10月のものです。



A-航海プロジェクトイメージ1



A-航海プロジェクトイメージ2



B-参考地図1 (背景地図製作：菅 浩伸  
based on Gebco 08 Grid)



B-参考地図2 (推定される3万年前  
の地形)



C-与那国島より台湾方面を望む



D-草舟の製作1



D-草舟の製作2



D-草舟の製作3



E-完成した草舟1



E-完成した草舟 2



E-完成した草舟 3



E-完成した草舟 4



F-航行テスト 1



F-航行テスト 2



F-航行テスト 3



F-航行テスト 4



F-航行テスト 5

**3 万年前の航海 徹底再現プロジェクト**

**プレス発表会のお知らせ**

平成 28 年 2 月 9 日（火）13 時 00 分～／上野・国立科学博物館

国立科学博物館は、下記のとおりプレス発表会を実施します。つきましては、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

記

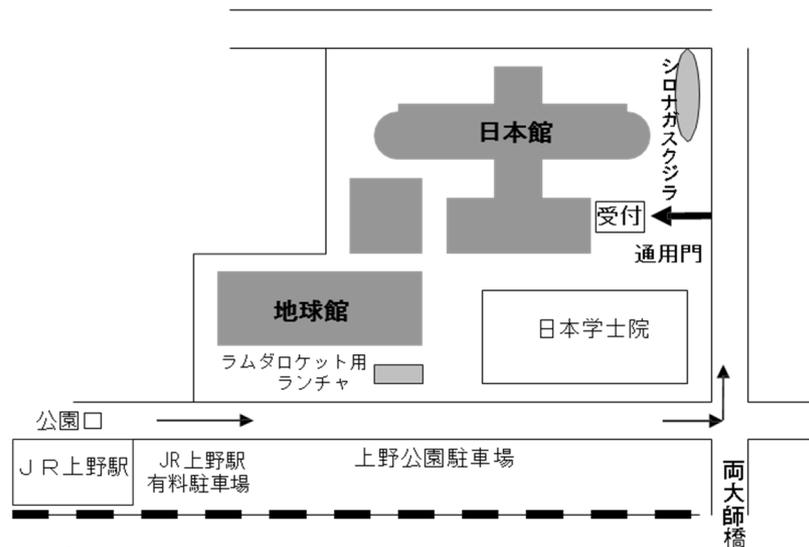
【日 時】平成 28 年 2 月 9 日（火）13 時 00 分～14 時 00 分（受付開始 12 時 30 分～）

【会 場】国立科学博物館（東京都台東区上野公園 7-20）

【受付場所】国立科学博物館 事務棟入口 ※通用門からお入りください。

〈交通のご案内〉 JR 上野駅公園口から徒歩 5 分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩 10 分、京成電鉄上野駅から徒歩 10 分 ※駐車場の用意はございません。

上野恩賜公園



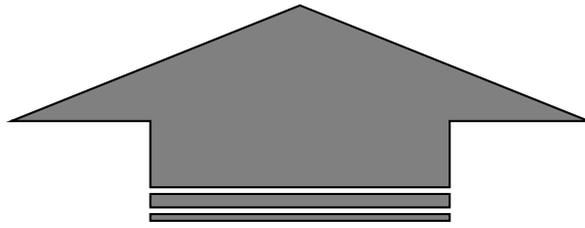
**当日のスケジュール**

- 12:30～ 受付開始（受付場所：事務棟入口 ※通用門からお入りください）
- 13:00～14:00 プレス発表会（会場：日本館 2 階 講堂）

**参加ご希望の方は別紙「返信用紙」にて 2 月 8 日（月）17 時までにお知らせください。**

※事前にお申し込みをいただいた方には、プロジェクトについて記した新刊『日本人はどこから来たのか？』海部陽介（著）を進呈いたします。

※事前のお申し込みがなくても、当日ご参加いただけます。



【 返 信 用 紙 】

F A X 番 号

< 0 3 - 5 8 1 4 - 9 8 9 8 >

2 月 8 日 ( 月 ) 1 7 時 までにご返信ください。

3 万 年 前 の 航 海 徹 底 再 現 プ ロ ジ ェ ク ト

プ レ ス 発 表 会 参 加 票

( 平 成 2 8 年 2 月 9 日 ( 火 ) 1 3 時 0 0 分 ~ 1 4 時 0 0 分 )

( 受 付 : 1 2 時 3 0 分 ~ )

参加をご希望される方は、下記項目にご記入の上、事前に F A X にてご返信  
いただければ幸いです。

お手数をおかけいたしますがよろしくお願い申し上げます。

貴社名 \_\_\_\_\_

貴メディア・所属部署名 \_\_\_\_\_

ご芳名 \_\_\_\_\_

連絡先

住所：〒 \_\_\_\_\_

TEL : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_

メールアドレス : \_\_\_\_\_

備考 \_\_\_\_\_